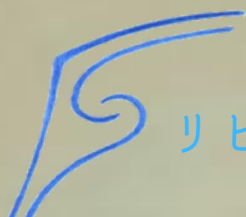


スイスより初来日公演



LICHTEURHYTHMIE - ENSEMBLE

リヒトオイリュトミー・アンサンブル福岡公演

2023.10.27(Fri)

公演1

開場17:00 開演17:30 終演18:00

オイリュトミー「礎石の言葉」

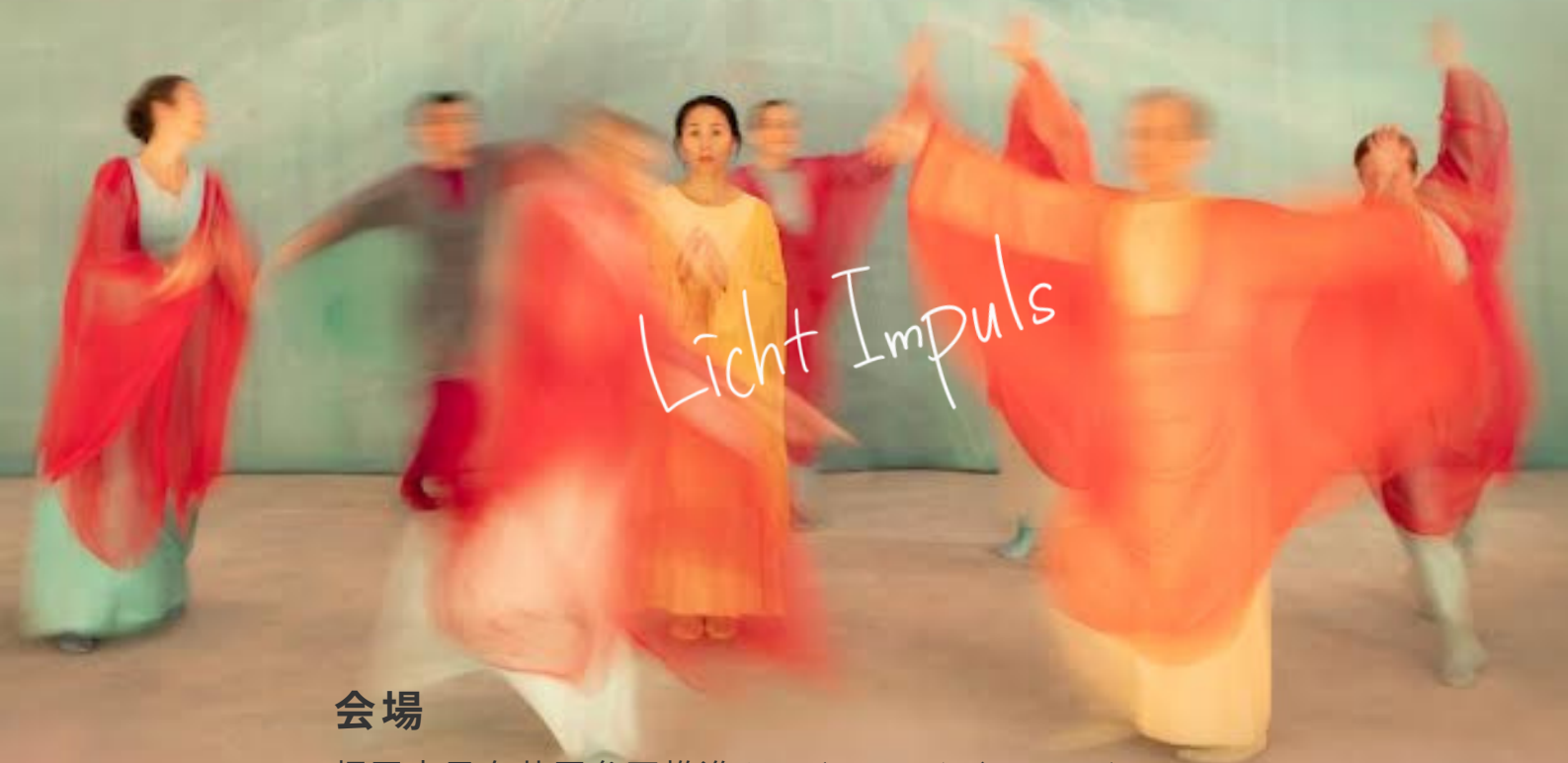
対象年齢18歳以上  
ルドルフ・シュタイナー

公演2

開場18:00 開演18:30 終演20:00(予定)

芸術オイリュトミー公演「四季の光」

対象年齢中学生以上  
ベートーヴェン ピアノソナタ「悲愴」  
シューマン シンフォニーニッシュ・エチュード  
J.S.バッハ コラール他



会場

福岡市男女共同参画推進センター アミカス 4Fホール

福岡県福岡市南区高宮3丁目3-1

	前売り	当日
公演1	¥1,500	¥2,000
公演2	¥3,500 (学生¥2,000)	¥4,000
公演1+2	¥4,000	

定員 200名

前売り締切は  
10月25日

チケット申し込み <https://lichtfukuoka2023.peatix.com/>

お問い合わせ [licht.fukuoka@gmail.com](mailto:licht.fukuoka@gmail.com)



# LICHTEURYTHMIE - ENSEMBLE

## ごあいさつ

ドルナッハ・アーレスハイムで活動しているリヒトオイリュトミー・アンサンブル初めての日本公演です。

このドルナッハ・アーレスハイムのプロのオイリュトミー・アンサンブルは、ドルナッハ(スイス)にあるゲーテアヌムの芸術的衝動と密接に結びついています。このアンサンブルの主要メンバーは、ゲーテアヌムの舞台で何十年もオイリュトミストとして活動してきました。現在私たちはこのオイリュトミーの衝動を世界に発信しています。私たちは世界のあらゆる大陸を旅してきました。今回初めて日本に伺うことができることを、とても嬉しく思っています。

私たちリヒトオイリュトミー・アンサンブルは、ルドルフ・シュタイナーによる照明の衝動に集中して取り組んでいます。舞台に掛けられるカーテンは、植物から取り出した顔料で描かれたものです。(ルドルフ・シュタイナーはオイリュトミー照明の事を、単に「照明」とでなく、「光のオイリュトミー」と呼ぶことを提案しました。ドイツ語で光はリヒトといい、これが私たちのグループ名の元となっています。)

今回私たちのアンサンブルに、ドルナッハでオイリュトミーを学んだ3人の日本人がいることを嬉しく思っています。今回、日本各地のシュタイナー学校、オーガナイズをになってくださる方々のおかげで、このツアーを実施することが可能になりました。心から感謝しています。

私たちの公演とオイリュトミーの衝動を日本に運んでいくことを楽しみにしています。また、日本各地で企画を担ってくださっている方と共に働けること、たくさんの方々との出会いも楽しみにしています。

スイスより光に満ちた挨拶を  
リヒトオイリュトミー・アンサンブル主宰  
トーマス・スッター

Th. Sutter

ドイツとフランスそしてスイス3国の国境にあるバーゼルの近くの丘に、ドルナッハという美しい村があります。

R.シュタイナーはここにオイリュトミーと神秘劇を上演するための劇場「ゲーテアヌム」を建てました。ゲーテアヌムは舞台芸術だけでなくアントロポゾフィーの中核をなす哲学・教育・自然科学など7つの部門の学びの中心地でもあります。

そのゲーテアヌムで長年第一線で活動されてきたリヒトオイリュトミー・アンサンブルの皆さんを福岡にお招きできることは大きな喜びです。

今回の公演の特出すべきことは、「礎石の言葉」というアントロポゾフィーの根幹をなすシュタイナーの言葉をオイリュトミーとして観る事ができることです。

そしてもちろん、ベートーヴェンの『悲愴』や俳句そしてドイツ語の詩の作品も楽しみです。オイリュトミーを光の芸術に高める照明家を帯同しての公演に心が躍ります。

カスタリア主宰 田原 眞樹子



### 男女共同参画推進センター アミカス

西鉄天神大牟田線高宮駅西口すぐ

